

ベトナム北部における脳卒中センターの遠隔診療を活用した地域連携支援 およびチーム医療体制強化事業

- ベトナムでは、近年の著しい経済発展による生活習慣の変化に伴い、死亡原因の7割を非感染性疾患が占めている。その第一位は脳卒中であり、毎年約10万人が命を落としている。
- 2015年からNCGMはバックマイ病院と連携し、脳卒中患者に対するチーム医療の導入をすすめ、患者登録システムの確立、嚥下評価法の開発や、早期リハビリテーションの実施、とろみ剤を用いた嚥下食の導入などを行ってきた。バックマイ病院は、2020年11月に脳卒中センターを設立した。今年度は脳卒中センターのレジストレーション、クリニカルパスの作成、症例カンファレンス、早期リハビリテーションや嚥下造影検査、嚥下調整食、病態生理を含めた関連図の作成などの研修を行い、チーム医療体制の強化を行う。テキストやガイドラインを作成する。
- 期待される成果
NCGMとバックマイ病院の脳卒中センターが、オンライン会議、研修およびセミナーを行い、2023年2月までにバックマイ病院における脳卒中診療・看護の質の向上に寄与する。

